

日本郵船、省エネ装置が温暖化防止環境大臣表彰受賞

Edited By LogisticsToday On 2018/12/03

日本郵船は3日、同社グループのMTIと、常石造船が共同開発した船舶用の省エネ付加物装置「MT-FAST」が、「2018年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策技術先進導入部門）」を受賞したと発表した。



▲（左から）MTIの田中康夫社長、環境省の原田義昭大臣、日本郵船の丸山英聡専務、常石造船の河野健二社長

MT-FASTは、プロペラ前方に取り付けた複数のフィンが、プロペラの回転から生まれる旋回流による損失エネルギーを回収して3-5%と高い燃節効果を生み出す船舶用の省エネ付加物装置。新しく建造する船舶だけでなくすでに就航している船舶に対しても後付け搭載が可能で、2008年の開発以降、ばら積み貨物船、タンカー、コンテナ船を対象に500隻以上に搭載されている。

10年の累計で134万トンのCO2排出削減を達成したことが高く評価され、今回の受賞に至った。同日に表彰式が開催され、日本郵船の丸山英聡専務経営委員、MTIの田中康夫社長、常石造船の河野健二社長が出席した。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/331665>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.